

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 25 年 12 月 26 日 (2013.12.26)

【公開番号】特開 2013-221978 (P2013-221978A)

【公開日】平成 25 年 10 月 28 日 (2013.10.28)

【年通号数】公開・登録公報 2013-059

【出願番号】特願 2012-91829 (P2012-91829)

【国際特許分類】

G 0 2 B 6/00 (2006.01)

G 0 2 B 6/44 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 6/00 3 8 6

G 0 2 B 6/44 3 0 1 A

G 0 2 B 6/44 3 1 1

【手続補正書】

【提出日】平成 25 年 11 月 7 日 (2013.11.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

石英ガラスからなるコア層の外周に、硬化性樹脂組成物を硬化することにより形成されたクラッド層と、前記クラッド層の外周に接するように形成されたインク層とを設けた光ファイバであって、前記コア層と前記クラッド層との密着力が $1.5 \text{ g/mm} \sim 4.0 \text{ g/mm}$ である光ファイバ。

【請求項 2】

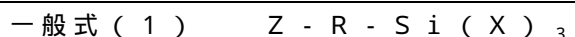
前記インク層は着色顔料と紫外線硬化型ウレタン（メタ）アクリレート化合物とを含む組成物より形成されている請求項 1 に記載の光ファイバ。

【請求項 3】

前記クラッド層を形成するための硬化性樹脂組成物は、フッ素原子含有ウレタン（メタ）アクリレート化合物、フッ素化されたポリエーテルを構造中に有する（メタ）アクリレート化合物、および（メタ）アクリレート化されたフッ素原子含有ビニル重合体から選ばれる少なくともいずれかの化合物を含有し、かつ前記クラッド層中のフッ素含有量が $20 \sim 60 \text{ wt\%}$ である請求項 1 又は請求項 2 に記載の光ファイバ。

【請求項 4】

前記硬化性樹脂組成物は、下記一般式（1）で表わされるアルコキシシランを $0.2 \sim 1 \text{ wt\%}$ 含有する請求項 3 に記載の光ファイバ。



（式中、Z は（メタ）アクリル基、メルカプト基またはエポキシ基を、X は $-\text{OCH}_3$ または $-\text{OC}_2\text{H}_5$ を、R は C_nH_{2n} ($n = 1, 2, 3, 4, 5$) を表す。）

【請求項 5】

前記コア層と前記クラッド層との密着力が $0.1 \text{ g/mm} \sim 0.4 \text{ g/mm}$ である請求項 1 ～ 請求項 4 のいずれか 1 項に記載の光ファイバ。